

中国語読解ゼミ 初中級クラス 通信講座のご案内

2013年12月から始まった第2期の初中級クラスの通学コースが、2014年4月に終了いたしました。

その初中級クラスの配布資料およびその講義の際に講師側を撮影した動画をコンテンツとする通信コースを開講させていただきます。

漢字を読める日本人の特性を利用して、中国語の読解（リーディング）のみ（主に中国語特許クレーム）に絞り、技術系、理系の中国語文章の読解力を基本文法からスタートして実務レベル（ビジネスレベル）まで高めることを目的とする講座です。

『中国語特許明細書を読む。書く。』（以下、「テキスト」といいます）の全内容の解説、中国語公報のクレームの読解を行います。また、適宜、補充資料を用いて解説を行います。



第08回のゼミの動画を iPad mini を用いて再生している様子

右	講師	雙田飛鳥	（日本部	日本弁理士）
中	講師	杜嘉璐	（機械部	中国弁理士）
左	講師	宋春華	（機械部	中国弁理士）

【対象】

中国語学習経験がゼロの方～中国語学習の中級者

【概要】

配信される資料（Internetを通じてダウンロードしていただきます）は、次のとおりです。

- ① 全14回、合計およそ28時間分の動画
- ② 11の中国語公報のクレームの解説資料
- ③ 12の補充資料

動画では、基本的に毎回、テキストの全内容、中国語公報のクレーム、および補充資料に対して、担当講師の雙田飛鳥および弊社代理人が解説を行っております。

講義時間、担当講師、解説範囲などについては、添付の表1～表4をご覧ください。

（通信講座では改定前のテキストが用いられていますが、改定版のテキスト（発行日2015年8月1日）を用いてもほぼスムーズに本講座をご利用いただけます。なお、改定版では、本講座中に口頭などで修正説明のある一部の箇所の内容が変更されております。）

【 中国語学習のフォロー体制 】

平日、10:00～18:00 の間（お昼休み、夕方可）、事前にご予約いただき虎ノ門の東京ブランチにお越しいただけますと、テレビ会議システムを通じてご質問にお答えすることができます。また、お勤め先などのテレビ会議システムとつないでご質問をお受けできます。

また、メールでのご質問は、常時お受けいたします（jpdepartment1@dragonip.com までご連絡ください）。

その他、例えば、スカイプなどを通じてご質問をお受けすることも可能ですので、適宜ご連絡いただきたいと思いますと考えております。

ご質問の回答は、Dragon IP の日本部が担当いたします。

【 費用 】

無料

テキストをお持ちでない方は、テキストをご購入いただく形になってしまいますが、お申込みの際にその旨をご連絡ください。

テキストは東京ブランチから **5200 円（税込み）** にてご購入いただけます（郵送の場合、別途送料が必要です）。

【 参加のお申し込み 】

お申込みをご希望の方は、jpdepartment1@dragonip.com まで下記内容をお知らせください。

お名前：

ご所属：

TEL：

E-mail：

知財業務の経験年数：

知財業務のご担当内容

中国語学習経験：

テキストの購入ご希望の有無：

講師へのご質問など：

その他、ゼミなどについてご質問がありましたら、jpdepartment1@dragonip.com までお気軽にご連絡ください。

所員一同、皆様のご参加をお待ちしております。

以上

表1 ゼミの開催日(通学コース)、講義時間、担当講師、動画形式、資料容量について

回数	開催日	講義時間	担当講師1		担当講師2		動画形式	資料容量
			所属	氏名	所属	氏名		
01	2013.12.10	各2時間	日本部 (北京)	雙田飛鳥	日本部(東京)	李平	mp4	762 M
02	2013.12.18							737 M
03	2014.01.07				機械部(弁理士)	杜嘉璐		816 M
04	2014.01.14					金成哲		759 M
05	2014.01.21				電気部(弁理士)	範勝傑		774 M
06	2014.02.18				日本部(北京)	沈海泊		216 M
07	2014.02.25					任向然		204 M
08	2014.03.04				機械部(弁理士)	杜嘉璐		312 M
09	2014.03.25					王莉莉		555 M
10	2014.04.01					宋春華		321 M
11	2014.04.08				電気部(弁理士)	王立傑		319 M
12	2014.04.15				機械部(弁理士)	許凱		546 M
13	2014.04.22				3時間	化学部(弁理士)		李宏軒
14	—	20分	—	—	153 M			

(動画について、第01回、第02回は東京ランチでの撮影、第03回以降は北京本部での撮影です)

(第01回、第02回の動画は、講師の頭が大きく映ってしまっていますが、ご容赦ください)

(第14回では、2つの補充資料の追加的な解説のみを行っています)

(通信環境によっては資料のダウンロードにお時間がかかる場合がございますので、通信速度の速い環境でのダウンロードをお願いします)

表2 各回のテキストの解説範囲

回数	テキスト解説範囲
01	最初 ~ P61
02	P62 ~ P105
03	P105 3.4.3.2 ~ P134
04	P134 3.4.26 ~ P166
05	P166 3.5.3 ~ P193
06	P193 3.7.1.1 ~ P218
07	P218 3.7.4.2 ~ P243
08	P243 3.8.13 ~ P286
09	P287 4.4 ~ P320
10	P320【313】 ~ P333
11	P335 第6章 ~ P365
12	P366 7.2 ~ P392
13	P392 7.5.7 ~ last
14	—

表3 各回のClaimの解説対象である中国語公報とファイル名

回数	中国語公報の番号		中国語公報の出願人・権利者	解説資料のファイル名
01	—			
02	—			
03	授権公告番号	CN2729763Y	日本企業	C_04.pdf
04	出願公開番号	CN102837614A		C_01.pdf
05	授権公告番号	CN1154568C		C_07.pdf
06	出願公開番号	CN101130361A		C_09.pdf
07	授権公告番号	CN1249318C	中国個人	C_08.pdf
08	授権公告番号	CN2322256Y	中国企業	C_03.pdf
09	授権公告番号	CN1060336C	中国個人	C_05.pdf
10	授権公告番号	CN1045173C	中国企業	C_02.pdf
11	授権公告番号	CN1203694C		C_06.pdf
12	授権公告番号	CN1295459C		C_10.pdf
13	出願公開番号	CN102806849A	日本企業	C_11.pdf
14	—			

(第01回、第02回、第14回では、中国語公報の解説はありません)

表4 各回にて解説されている補充資料の内容とファイル名

回数	補充資料の内容	補充資料のファイル名
05	“一起”、“靠近”の品詞について	D_letter20130122.pdf
08	“如下”は、動詞？	D_05_3.8.11_P241.pdf
10	電圧付与特性？（テキストP320【313】）	D_06_[313].pdf
	【314】-【316】(P322-P324) 専利代理人18名のアンケート結果	D_07_[314]-[316]_P322-P324.pdf
11	【341】-【351】【353】【354】の文の構造+7.1の練習問題	D_01_[341]-[351][353][354]_kouzou.pdf
	「状語」と「結果」（【328】中-3、【340】中-2）など	D_08_[328][340]_kouzou.pdf
12	【353】【354】の文の構造	D_01_ex_[353][354]_kouzou.pdf
	C_10_A Claim1に関する解説の補充資料	D_11_[C_10_A Claim1]_shusei.pdf
13	テキスト7.5.7の補充資料	D_03_7.5.7.pdf
	1. 動詞の後の“在”は、結果補語か？ 2. 動詞として機能する語（以下「X」という）の品詞	D_04_7.6.3_P402.pdf
	【396】-【398】【411】-【414】の文の構造	D_10_[396]-[398][411]-[414].pdf
14	日本語例文の参考翻訳例【382】-【388】(P391-P395)	D_09_[382]-[388].pdf
	3.5.1 (P142)「名詞」を修飾する“至少”などの用法に関して	D_12_3.5.1_P142__zhishao_hojiyu.pdf

（通学コースにて配布されたゼミの補充資料は、ゼミ進行上の都合により当該回のゼミで使用されず、次回以降で使用されているものがあります。通信コースにおいて、動画との関係上、当該回のゼミで使用されなかった配布資料も通学コースと同様に配布しております）